

に備える

活断層の

この断層帯による地震の規模はマグニチュード7.9程度と、道内で確認されている活断層のなかでも大きな規模になる予想です。

今月の広報くりやまでは、町民の皆さんに活断層で発生する地震についてお知らせするため、札幌管区気象台で詳しい話を伺ってきました。



地震

活断層の

に備える

本町には、美唄市から厚真町まで縦断する長さ推定約66kmの活断層『石狩低地東縁断層帯主部』が確認されています。

この断層帯による地震の規模はマグニチュード7.9程度と、道内で確認されている活断層のなかでも大きな規模になる予想です。

近年では、平成30年に発生した胆振東部地震（本町では震度5度弱）や、昨年の年明けに石川県能登地方で発生した能登半島地震など、大規模地震が多く発生しています。

今月の広報くりやまでは、町民の皆さんに活断層で発生する地震についてお知らせするため、札幌管区気象台で詳しい話を伺ってきました。

写真提供：安平町（平成30年胆振東部地震による被害の様子）

石狩低地東縁断層帯

石狩低地東縁断層帯（主部）は、最新の活動が1739年から1885年頃に発生し、平均活動間隔は1000年から2000年と考えられており、この先数十年のうちに地震が発生する可能性は非常に低いと予想されています。しかし、確認されていない活断層が地下に潜んでいる可能性があり、大地震はいつどこで起きてもおかしくはありません。

栗山町の皆さんは、石狩低地東縁断層帯の関心が高いと思います。が、確認されていない断層が大地震を起こす可能性が十分あるので、『大きな地震はいつか来る』と心がけておくことが重要です。

活断層とは何か

私たちは生活する日本列島は、プレートとの動きによって絶え間なく変動している大変活発な地域です。その変動の痕跡が地表に残されているのが「活断層」です。これらの活断層は、大規模な地震を引き起こす可能性があるため、

たんどぅ えいじ
丹藤英司さん

地下に潜む活断層

道内では、主な活断層として9つの断層帯が確認されています。これらは地表に露出しているため、これまで調査や研究が進められ、その位置や活動履歴が徐々に明らかになってきました。しかし、このほかにも、地下深くに多くの活断層が潜んでいると考えられています。

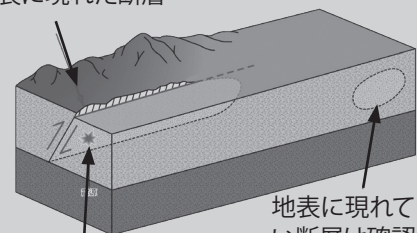
栗山町周辺の活断層

栗山町周辺で確認されている主な活断層は、「石狩低地東縁断層帯主部」で、美唄市から厚真町まで縦断しています。

地震調査研究推進本部の長期評価では、この断層帯による今後30年以内の地震発生確率は「ほぼ0%」とされています。しかし、平成30年に発生し

■確認されていない活断層も多い

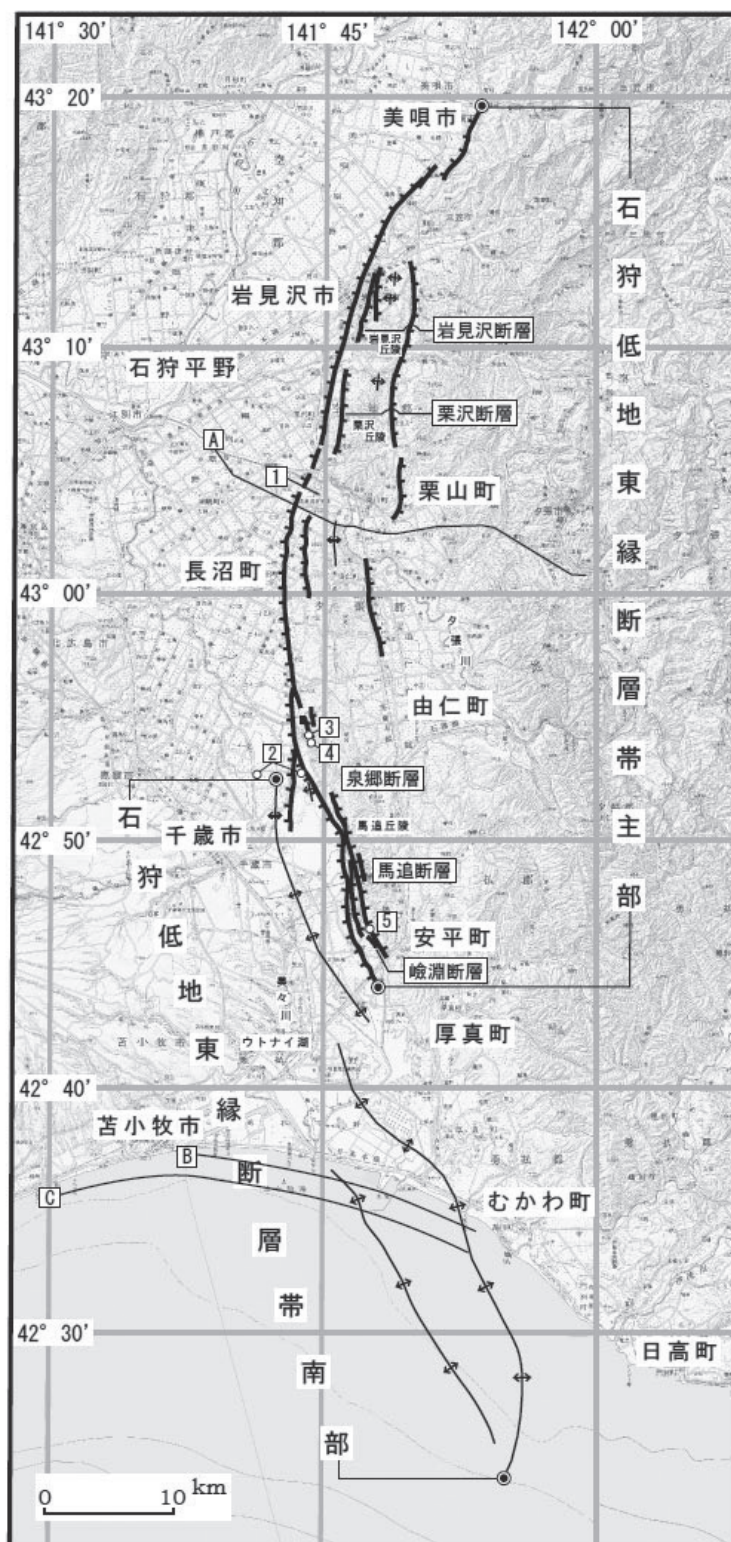
地表に現れた断層



地表に現れていない断層は確認されにくい

地震の発生源

出典：地震調査研究対策本部



無償です

緊急告知 FM ラジオを 配付（貸与）しています

町では、全世帯を対象に防災ラジオを無償で配付（貸与）しています。

このラジオは、エフエムくりやまの電波を利用した緊急告知放送を自動で受信する仕組みが備わっています。

普段は一般的なラジオと同様に使用できますので、エフエムくりやまをはじめ、民放ラジオをお楽しみいただけます。

役場にお越しいただけない場合は、お電話一本でお届けします。

■試験放送

ラジオが自動で起動し、大きな音量で数十秒間、試験放送が流れます。

3月28日(金) 12:30頃

【問い合わせ】

総務課広報・防災・情報グループ ☎ 73-7501

①国からの情報

全国瞬時警報システム（Jアラート）から発信する「緊急地震速報」「気象等の特別警報」「弾道ミサイル情報」などをお知らせします。

②町からの情報

避難に関する情報（高齢者等避難、避難指示など）や、その他生命に関わる緊急性の高い情報などをお知らせします。

緊急時は
自動起動



災害は苦しいけど防災は楽しく

災害が起きると何をするにしても苦しいことばかりです。平時でも人は苦しいことを考えたくはないのでどうしても災害から目をそらしがちになります。災害は苦しく重たいテーマで

地域防災の実践者に聞く Interview

西区町内会会長
錦まちづくり協議会副会長
北海道地域防災マスター
しおばらひでお
塩原 秀夫さん



考えるだけでなく、時には体験を

ですが、防災は楽しむことも重要で、継続して取り組むための大切な要素だと思っています。

災害が発生すると、自分や家族、財産を守ることが何よりも重要になります。しっかりとした初動をとることができると、どこかで大きな差がでてきます。

そのためには訓練が有効ですが、地域で避難訓練をしようとしても、防災に対する意識が高まっていないと運営する側も参加する側も身構えてしまいかなくなってしまうものです。

まずは、家族で防災について話し合ってみて、家族（自宅）のなかだけで楽しみながら避難生活を体験してみることをお勧めします。

電気やガス、水道などが使えなくなったことを想定し、カセットコンロを使って炊飯してみたり非常食を食べてみたり、楽しみながら実践するとよいと思います。実際に体験してみると防災に対する意識も自然と高まっていくものです。

地震のまめ知識

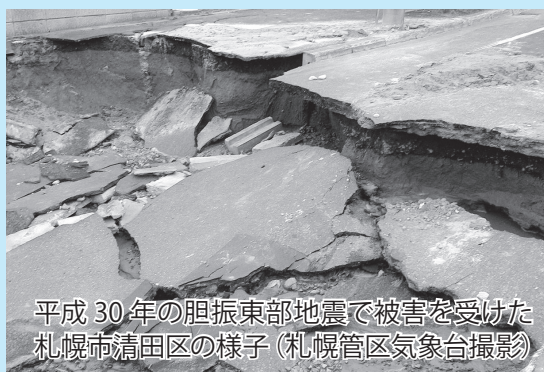
Q. 栗山町のなかでも場所によっては揺れの大きさは違うの？

A. 栗山町内であっても地盤の性質によって、揺れの大きさや、影響が異なる可能性があります。

栗山町内を見ると、平地部分の地盤は丘陵地に比べて相対的に柔らかい傾向にあります。これは、平地部分が河川によって運ばれてきた土砂の堆積によってできた地盤であるためです。

一方、丘陵地の地盤は固く、地震時の揺れも小さくなる傾向にあります。

栗山町内でも場所によって地盤の性質



平成 30 年の胆振東部地震で被害を受けた札幌市清田区の様子（札幌管区気象台撮影）

が異なるため、地震の際の被害の程度も異なる可能性があります。

上の写真は、平成 30 年に発生した、胆振東部地震で大きな被害を受けた札幌市清田区で撮影された写真です。

埋め立てして整地された地盤の弱い土地に被害が集中してしまいました。



冬季防災で気をつけたいポイント

- ①栗山町の昨年 1 月の平均気温は - 4.6℃でした。昨年から暖冬が続いてはいますが、十分な防寒が必要です。
- ②高血圧や低体温症など健康への影響が考えられます。
- ③屋根に雪が積もるため、地震が発生した場合は住宅の倒壊リスクが高くなります。

ルベットの寝心地を体験しました。
工藤会長は、同まちづくり協議会で備蓄している携帯トイレや防寒グッズの使い方などを説明し、各家庭での備えが重要だと呼びかけていました。

松風・桜丘地域まちづくり協議会で 冬季避難訓練を実施（2月8日）

松風・桜丘地域まちづくり協議会（工藤信司会長）が、松風会館で冬季避難所開設訓練を実施しました。

厳しい寒さを体感してもらいながらの実践的な訓練にしようと、会場の暖房はつけずに行われ、参加した会員約 30 人は、足元を這う冷気を感じながら、ダンボールベットの組み立て訓練や出来上がったダンボー